



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 足立 有子 TEL 03-6423-1135
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,635	△26.3	404	△68.0	444	△64.9	275	△67.0
2020年3月期第2四半期	4,932	△6.0	1,263	△13.6	1,265	△13.8	832	△14.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 271百万円 (△67.1%) 2020年3月期第2四半期 825百万円 (△14.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	22.00	21.86
2020年3月期第2四半期	66.59	66.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	15,528	14,520	92.3	1,146.45
2020年3月期	16,017	14,498	89.7	1,149.63

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 14,336百万円 2020年3月期 14,374百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,410	△22.3	850	△61.7	1,025	△54.1	700	△54.7	55.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	12,505,627株	2020年3月期	12,504,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	519株	2020年3月期	519株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	12,504,361株	2020年3月期2Q	12,503,523株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、各国での新型コロナウイルスの感染拡大による渡航禁止や都市封鎖の実施等から世界的に経済活動が停滞する中、需要・供給の両面から影響を受け急減速となりました。5月を底に徐々に回復傾向となったものの、感染の再拡大もあり感染拡大前の水準を下回る厳しい状況が継続いたしました。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連は、5月の国内自動車生産台数が前年同月比で6割強の減少となったほか、世界的にも半減となったことから非常に厳しい状況となりましたが、米中の需要回復などもあり8月には同2割程度の減少にまで回復いたしました。また電子・デバイス関連では、リモートワークの拡大によるパソコンや関連機器の伸び等もありましたが、市場規模の大きいスマートフォンの販売下振れや主力機種の新機種開始の遅れなどもあって、減速傾向となりました。このような需要先の状況を見て一部商社で仕入れを絞る動きが続き、最終需要以上に当社グループの販売が落ち込む展開となりました。

このような環境のなか当社グループでは、マスク着用や手洗い・消毒の励行、在宅勤務や時差出勤の実施等様々な感染防止策を講じつつ、日々の業務を行ってまいりました。営業活動においては、海外はもちろん国内においても出張を禁止（国内は7月に条件付きで解除）し、電話やオンラインを活用した製品紹介や技術アドバイスを積極的に行ったほか、メールによる情報発信等も行いつつ、徐々に訪問営業を再開いたしました。感染の再拡大もあり本格的な訪問活動は難しい状況が続きました。なお、これまで東京にのみあった在庫センターを、リスク対策の面から仙台工場にも設置いたしました。生産活動においては、売上高の減少に伴う在庫の削減を目的として、一時帰休の実施等により減産を行いつつ、可能な限りのコスト削減を図りました。製品面では、当社の研削技術により、CBN素材のエンドミルにおいて、世界で初めて刃径0.1mmで4枚刃、更にコーナーにR0.01が付いたCBNスーパーハイプレジジョンラジラスエンドミル「SHPR400」（ラジラスエンドミル：刃先の角（コーナー）に丸み（R）が付いた形状のエンドミル）を発売し、この10月に本製品を含んだ極小径多刃ラジラスエンドミルシリーズが「超モノづくり部品大賞 機械・ロボット部品賞」を受賞いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は3,635百万円（前年同期比26.3%減）、営業利益は404百万円（同68.0%減）、経常利益は444百万円（同64.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は275百万円（同67.0%減）となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル（6mm以下）」が2,820百万円（前年同期比24.7%減）、「エンドミル（6mm超）」が331百万円（同32.4%減）、「エンドミル（その他）」が243百万円（同29.9%減）、「その他」が240百万円（同31.5%減）となりました。

（注）報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は488百万円減少し15,528百万円となりました。これは主に、売上高の減少に伴う受取手形及び売掛金の減少や在庫削減による棚卸資産の減少等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して511百万円減少し、1,008百万円となりました。これは主に、未払法人税等、賞与引当金及び役員賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、22百万円増加し14,520百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益により増加したことや配当金の支払いにより減少したことなどによるものであります。なお、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は92.3%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

5G対応スマートフォンの拡大等が期待される一方、新型コロナウイルスの感染再拡大が懸念されるなか消費や経済が停滞する可能性が高いことに加え、米中対立の激化に伴う世界貿易への影響も世界経済に悪影響を及ぼし、5月のような急激な落ち込みは無いにしても、製造業全体としては当面厳しい状態が続き、工具需要も回復が遅れるものと想定しております。

このような環境のなか当社グループでは、コーティングを改良した新製品の販売拡大を図るとともに、更なる新製品の開発を進めてまいりますが、今年度の通期業績につきましては前期の水準を大きく下回るものと判断いたしました。

詳細につきましては、2020年10月28日に公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,784,360	6,221,709
受取手形及び売掛金	1,366,221	1,027,588
商品及び製品	1,319,932	1,208,839
仕掛品	274,477	222,962
原材料及び貯蔵品	606,684	593,651
その他	203,939	109,215
流動資産合計	9,555,615	9,383,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,861,180	2,788,818
機械装置及び運搬具(純額)	1,896,232	1,695,650
土地	692,528	692,528
建設仮勘定	122,959	125,952
その他(純額)	175,534	155,914
有形固定資産合計	5,748,434	5,458,864
無形固定資産	52,546	37,691
投資その他の資産		
投資有価証券	47,030	48,110
繰延税金資産	324,813	297,057
その他	289,408	303,340
貸倒引当金	△49	△49
投資その他の資産合計	661,202	648,458
固定資産合計	6,462,183	6,145,014
資産合計	16,017,798	15,528,981

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,276	100,244
未払法人税等	256,952	142,788
賞与引当金	216,859	151,637
役員賞与引当金	125,279	25,909
その他	457,694	333,544
流動負債合計	1,265,061	754,123
固定負債		
長期未払金	254,736	254,168
固定負債合計	254,736	254,168
負債合計	1,519,797	1,008,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	444,372
資本剰余金	405,800	407,272
利益剰余金	13,535,643	13,498,183
自己株式	△925	△925
株主資本合計	14,383,417	14,348,903
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	919	1,675
為替換算調整勘定	△10,011	△14,147
その他の包括利益累計額合計	△9,091	△12,472
新株予約権	123,675	184,258
純資産合計	14,498,001	14,520,689
負債純資産合計	16,017,798	15,528,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	4,932,211	3,635,890
売上原価	2,162,094	1,900,469
売上総利益	2,770,117	1,735,421
販売費及び一般管理費	1,507,043	1,331,242
営業利益	1,263,073	404,179
営業外収益		
受取利息	16	20
受取配当金	599	123
助成金収入	85	35,792
作業くず売却益	7,765	3,539
その他	1,429	2,863
営業外収益合計	9,895	42,339
営業外費用		
為替差損	7,526	2,347
その他	15	19
営業外費用合計	7,542	2,366
経常利益	1,265,426	444,152
特別利益		
固定資産売却益	2,801	-
特別利益合計	2,801	-
特別損失		
固定資産売却損	48	45
固定資産除却損	286	2,310
特別損失合計	334	2,356
税金等調整前四半期純利益	1,267,893	441,796
法人税等	435,275	166,668
四半期純利益	832,618	275,127
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	832,618	275,127

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	832,618	275,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△535	755
為替換算調整勘定	△6,666	△4,136
その他の包括利益合計	△7,202	△3,380
四半期包括利益	825,416	271,746
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	825,416	271,746
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示しておりました「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の20を超えたため、当第2四半期連結累計期間より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた1,514千円は、「助成金収入」85千円、「その他」1,429千円として組み替えております。